

現代文における動画活用の実践

背景・従来の現代文授業の問題点

- ①授業時間内に、教材となる文章を読み進めるのに時間がかかる。
 - (1)生徒が教材に飽きてしまう：学習意欲の低下。
 - (2)アクティブ・ラーニングなどの発展的な学習をする時間の確保が困難にもなる。
- ②欠課の生徒が取り残されることが多い。
 - (1)現代文の教材は途中を聞き漏らすと、後が理解しづらくなるものが少なくない。
 - (2)本文を自分一人で読み、その内容を理解しようというのなかなか難しい。

目的と方法

目的：インターネット上での学習、いわゆる「eラーニング」の現代文教育への応用として、動画を活用してどれぐらいの効果があるかを明らかにする。
→特に学習意欲の向上や、学習している教材の内容に対する理解が、従来の授業よりもすすむかどうかという2点を重視。

方法：PowerPointのスライドをベースに学習用動画を作成。
→作成した動画は動画共有サイトであるYouTubeにアップロード。動画は限定公開とし、生徒は動画用のURL(QRコード)にアクセスして動画を視聴。

動画活用の実践 ～3年の現代文における活用の実際～

① 単元：小説 森鷗外『舞姫』

- (1)夏休み前に、ストーリー全体の解説をした動画をアップロードし、ストーリーの概要を理解させた。
- (2)夏休み明けから『舞姫』の授業を本格的にスタート。8時間で単元を終えた。
- (3)ストーリーを理解しやすくさせるために、文字だけのスライドではなく、登場人物のイラストを作成し、それをを用いてストーリーを説明、解説する形式にした。

小説『舞姫』の動画



② 単元：評論 野矢茂樹『猫は後悔するか』

- (1)教科書の本文をプリントにし、さらに教科書の下部にある脚問を設問として設定し、それを解説する動画をアップロード。
- (2)スライドは基本的に授業で使ったものをベースにし、それに動画で説明する場合に必要な線や文字を加えた。
- (3)単元終了後に動画をアップロードし、復習用に活用させた。

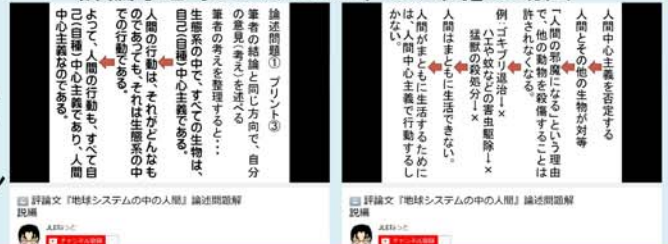
評論『猫は後悔するか』の動画



③ 単元：評論 竹内啓『地球システムの中の人間』

- (1)基本的な動画の構造は②の(1)(2)と同じだが、この単元ではさらに「人間中心主義について自分の考えを述べよ」等の論述問題を授業用プリントに設定し、考え方・論じ方に関する解説の動画もアップロードした。
- (2)論述問題の解説は筆者の結論と同じ方向で論じるパターンと、異なる方向で論じるパターンの二つを扱った。

評論『地球システムの中の人間』の動画



実践を終えての考察 ～生徒のアンケートから見える効果と課題～

- | | | | |
|---|--------------------------------------|--|--|
| ①挿絵や効果音などがあって、物語に集中しやすかった。また、丁寧な説明もあったので、一人で読むよりも理解度があがったと思う。ただ、1つがあまりにも長いので、寝落ちしそうになることが何度あった。物語が大きく変化することに章が変わった方が分かりやすいかも知れない。 | ①本文が読みにくかったため動画を見たことでくわしく理解ができました。 | ②文章の論理構造などが分かりやすかったです。本文が難しいだけに、動画はすごく役に立ちました。 | ②授業を休んでいて、解説がきけなかったのだが、動画をみることで人にきかなくても自分で学習できたので良かった。 |
| ①正直全部読む気が失せていたが、動画で人間関係etcを把握直して本文を読み返すとスムーズに内容がとれたのでよかった | ②授業でもう一度聞きたかったことが解説されていたので、すっきりしました。 | ③2パターンの意見提示法を学べて、これは入試に限らず使える手だったので、役に立った。具体例が適切で、納得できた。 | ③内容を整理と書き方の方針が分かりやすくなっていて、とても参考になった。 |
- ※授業後に取ったアンケートから一部抜粋。コメントの前の番号は、「動画活用の実践」内の各単元に対応
- ①内容は生徒に好評。イラストや図などがあることで生徒の理解がすすみ、学習意欲の向上が見られた。また、復習や欠課分の穴埋めに活用できていた生徒もいた。
 - ②動画は長すぎると集中できない。要点を短く説明する形の動画が学習に有効か。
 - ③文の概要や基本構造を動画で、深い内容(思想・背景等)を授業で理解するような、いわゆる「ブレンディッド・ラーニング」が有効ではないかと示唆された→今後検討